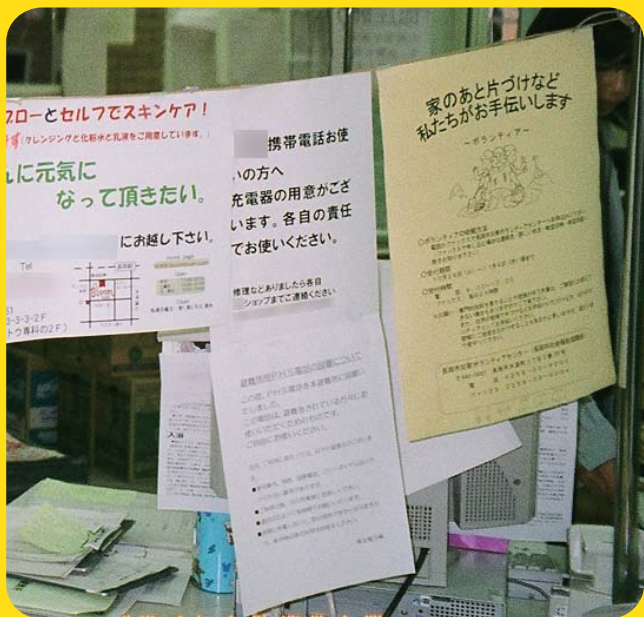


被災地等における支援活動を行う行政機関・大学・ボランティア団体等多くの方のご参加をお待ちしています



東日本大震災に関する 書類・写真の整理・保存講習会

～被災支援活動の経験・ノウハウを活かすために～

主催：国立国会図書館 協力：岩手県・いわて未来づくり機構

日時：平成26年8月20日(水)午後1時30分～4時(開場午後1時) **参加費：無料**

場所：岩手県庁 12階特別会議室(岩手県盛岡市内丸10-1) 定員：50名(先着順)

講演

新潟県長岡市における避難所資料の整理と保存
～市民ボランティアと災害・復興をかたりつぐ～

田中洋史氏(長岡市立中央図書館文書資料室主査)

「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称:ひなぎく)」*を公開している、国立国会図書館では、東日本大震災に関するアーカイブ活動支援の一環として、書類や写真等の整理・保存についての講習会を開催します。平成25年12月の東京での講習会に引き続き、平成26年は岩手県で開催します。

プログラム

- 午後1時30分～2時30分 講演「新潟県長岡市における避難所資料の整理と保存
～市民ボランティアと災害・復興をかたりつぐ～」
- 午後2時45分～3時45分 避難所資料を用いたワークショップ
- 午後3時45分～4時 質疑応答

講師



長岡市立中央図書館文書資料室主査 田中 洋史(たなか ひろし)

昭和47年、長岡市出身。新潟大学大学院修了後、長岡市立中央図書館文書資料室嘱託員などを経て、平成21年4月、歴史的文書(郷土史)専門職員として長岡市採用。平成26年4月より現職。

新潟県中越大震災を機に「歴史的資料の救済」と「震災関連資料の収集」を二本柱にした災害対応に従事。

東日本大震災にあたり、長岡市内に開設された避難所の掲示物や日誌などを収集・保存し、その整理を市民ボランティアと協働で取り組む。

中越大震災から10年目の今年、長岡市が「復興10年フェニックスプロジェクト」として開催する「災害と復興をかたりつぐ」事業の企画・運営を担当。災害対応の経験を活かして、講演・執筆を行っている。新潟大学・長岡造形大学非常勤講師。

会場

岩手県庁 12階特別会議室

- 住所
岩手県盛岡市内丸10番1号
- 電話番号
019-629-5215
(岩手県政策地域部政策推進室)

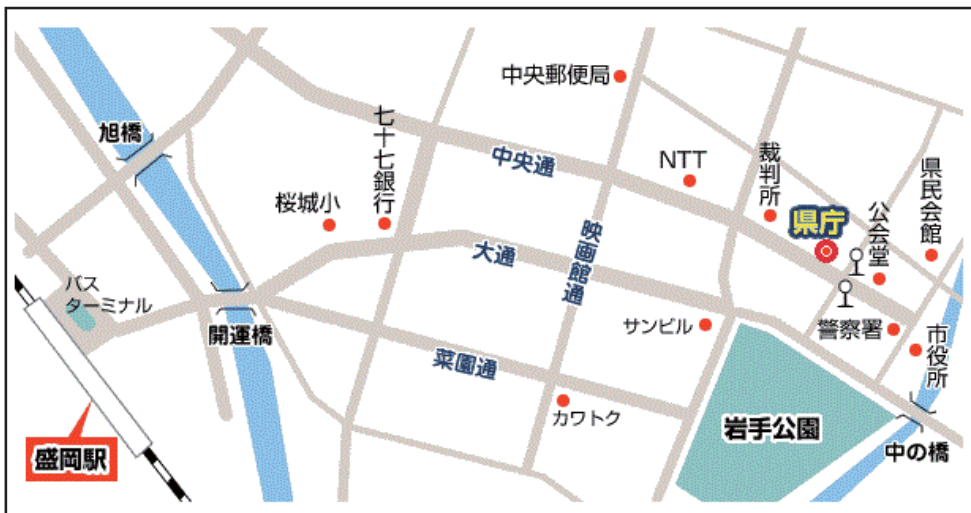
交通手段

■バス(盛岡駅から県庁:約10分)

盛岡バスセンター方面行きのバスに乗り、県庁市役所前のバス停で下車します。

■徒歩(盛岡駅から県庁:約20分)

盛岡駅東口から開運橋を渡り、大通を直進し、サンビル前交差点を左折、約150メートル先の盛岡裁判所前交差点を右折し、中央通を約180メートル直進した先の左側に県庁があります。



以下のFAX番号またはメールアドレスに(1)～(5)をご記入の上、お申込みください。

- (1) 講習会名(「8月20日講習会申込み」)
- (2) お名前
- (3) お名前(ふりがな)
- (4) ご所属
- (5) 連絡先(メールアドレスまたはFAX番号)

**お申込み締切り
8月15日(金)**

申込方法

*国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称:ひなぎく) <http://kn.ndl.go.jp>
講習会の一部の資料は後日、同サイト内のお知らせ(<http://kn.ndl.go.jp/information/310>)に掲載します。